

## 趣 意 書

時は二〇二七（令和九）年 公益財団法人全日本仏教会は一九五七（昭和三二）年の法人創立から七十年の嘉節を迎えます。本会は創立当初より 釈尊の和の精神を基調とし 仏教文化の宣揚と世界平和の進展に寄与することを目的として 社会の様々な諸問題を受け止め 生きとし生けるものの未来への方針を模索し 宗派や都道府県の垣根を超えた相互の緊密な連絡提携のもとに 全国各地で執り行われる各種仏教運動に全一性と計画性をもたせ 真に時代に即応する活発な全一仏教運動の展開と仏教による国際文化の交流を促進して参りました。

しかし乍ら 現下の国内外の情勢は 時々刻々と私たちの安寧なる生活を脅かし 刺え 人々の宗教及び仏教への関心は 愈々低迷して 我らが祖師達の憂いを酷似するが如く 厳しい様相を呈していると謂えましよう。

いま特に 私どもは創立より培ってきた仏教の叡智を以て 日本を始め世界へ広がる仏教文化の展開を図り その目的に更なる一致団結と仏意に叶った事業展開に資することが肝要であります。

つきましては 当周年記念事業の趣意をお汲み取りいただき 混迷する社会にあつて 加盟団体及び賛助会員 関係各位の有縁の皆さまに格別のご理解とご協力 並びにご支援を賜り 七十年の節目を未来へ結ばしめる力といたしたくお願い申し上げます。

維時 二〇二六（令和八）年五月吉日

公益財団法人全日本仏教会

第三十六期理事長

法人創立七十周年記念事業大会長

日 谷 照 應

# 開催要綱

全日本仏教会は一九五七（昭和三二）に財団法人として創立し、二〇一二（平成二四）年に公益財団法人として移行しました。法人認可から実に七十年、二〇二七（令和九）年にその佳節をお迎えいたします。

この度の七十周年記念につきましては、二〇二〇（令和二）年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響から準備会を設けず、二〇二四（令和六）年二月十四日の第四十一回理事会において、法人創立周年記念事業計画基本規程及び法人創立七十周年記念事業実行委員会内規を制定し、同年十一月二十二日の第四十四回理事会では骨子となる事業内容が承認され、以降事業に関する準備をすすめてまいりました。

今ここに、次のとおり加盟団体を始め有縁の皆さまへ開催要綱を提示し、共に周年記念事業を遂行して参りたく存じます。

## 一、名称（事業名） 法人創立七十周年記念事業

### （行事名） 法人創立七十周年記念

第四十八回全日本仏教徒会議東京大会

W F B 世界仏教徒会議日本大会 注意

## 一、開催期間 二〇二四（令和六）年度から二〇二八（令和十）年度

## 一、正当時機 二〇二七（令和九）年十二月十九日（日）・二十日（月）

## 一、開催地 東京都慰霊堂、ホテルイースト21東京他

## 一、テーマ 明日へつなげるご縁の力

く広げよう慈しみのこころをく

## 一、内容 ①法人創立七十周年記念式典

### ②第四十八回全日本仏教徒会議東京大会

### ③右記、記念式典および仏教徒会議東京大会の祝賀会

### ④追悼事業・戦後八十年追悼法要

・令和六年能登半島地震三回忌

・平成二十八年熊本地震十年・十三回忌

・東日本大震災十七回忌

・スマトラ島沖地震二十三回忌

・阪神・淡路大震災三十年・三十三回忌

・新潟県中越地震二十三回忌等

### ⑤「大正歳編纂百年」に伴う大蔵経運営事業としての公開講座

### ⑥仏教団体が伝える文化と伝統

⑦物品頒布（寺院カード、風鐸〔風鈴〕等）

⑧第三十二回WFB世界仏教徒連盟日本大会

第二十三回WFBY世界仏教徒青年会議

第十四回WBU世界仏教徒大学会議

⑨右記、世界大会に関する祝賀会

二〇二六（令和八）年五月吉日

公益財団法人全日本仏教会

第三十六期理事長

法人創立七十周年記念事業大会長

日谷照應

第三十六期事務総長

法人創立七十周年記念事業実行委員長

理事 和田学英  
理事 里雄康意  
理事 戸松義晴  
理事 秋山文裕  
理事 今川泰伸  
理事 小林秀嶽  
理事 船戸俊宏  
理事 加久保範祐  
理事 岩脇彰信  
理事 岡野正純  
理事 吉田明良  
理事 守山雄順  
理事 一宮良範  
理事 三吉廣明  
理事 軽部浩史  
理事 長澤香静  
理事 石原伸俊  
理事 花岡真理子  
理事 松丸壽雄